



●柏木実さん、後藤尚味さんが合流

呉地さん・マーさん・安藤が21時半ごろホテルに帰り、ロビーで明日の打ち合わせをしていると、外で食事をしてきた柏木さん・後藤さん・丸山さんが元気に帰ってきました。これでラムネットJメンバーが無事カンクンに勢揃いしました。柏木さん・後藤さんともに元気な様子、明日は6名で9日のサイドイベントの準備などにかかることができます。ラムネットJはマーさんの突然の参加にどれほど助けられたか、そのうち報告でまとめて書かせていただきます。ひたすら感謝の毎日です。

●イベントの準備を終え、メキシコの寿司を味わう

今日はラムネットJが関係するイベントもなく、9日のサイドイベントの準備に集中できました。昨日まではスピーカーの確定ができず、ハラハラしどおでしたが、今日は見事に決めることができ、プログラムや資料の準備もでき上がりました。しばらく連絡の取れない状態になっていたFAOのマティアスさんにばったり出会い、スピーチを引き受けてくださったことが一番のヒットでした。時間がとれるか不明だったネパールのカマルさんも大丈夫だということがわかり、一安心。

しかし、プログラム作りに時間を取られ、最終バスの出発時間(会場20時30分発)が迫ってきて、今日は夕食にありつけないかもと覚悟した時、幸いにも近くのイベントが終了し、お寿司にありつけました。ところがチーズ巻だったので、そのぬるりとした感じに思わず「おえっ」。ちゃんとした日本の食事がしたいです。

●送迎バスがグレードアップ!

私たちのホテル「kin Mayab」はダウンタウンのちょっとごみごみしたところにあります。そういった場所を巡る送迎バス「8番」は、小さくていつも満員。乗り切れない人々を積み残して去っていく日もあります。5日(月)はトラフィックジャムの上、詰め込まれたお客からはブーイング。車掌役のスタッフもとうとう頭にきたのか、いきなりスマホを取り出して車内の様子を写真に収め、上司と交渉を始めました。その結果、交渉に成功したらしく、「明日からはちゃんとした大きな、クーラーのついたバスが来るようにしたから」と私たちをなだめます。

でもこのやりかたにならされた私たちは、「本当か?

いや明日になってみないとわからないに決まってるさ」とたかをくくっていました。しかし、6日の朝に迎えに来たバスはなんと立派な観光バス!! 車掌さん、ありがとうございます。というわけで、スーパーで買ったリンゴをプレゼントし感謝の気持ちを伝えました。



↑小さなバス

↑大きなバス

●ラムネットJが「エネルギー省」に!?

ブースの前面についている団体名看板の英語名は「RAMSAR NETWORK JAPAN」でOKなのですが、ならんで表記されているスペイン語が、見たこともないエネルギー関係の省庁名になっていました。いつの間にかエネルギー省に成長したようです。このおちゃめな? 間違いを直してもらうのにもずいぶん時間がかかり、今日はやっとりあえず白塗りで隠してもらいました。正しいものに掛け替えられるのが会議終了前であることを祈ります。ちなみに看板の責任者は「つるあいこ」さんという日本人のような名前の方です。

このように、万事走りながら徐々に整っていくお国柄のようです。みんなフレンドリーで一生懸命にやってくれているので、腹もたたず、毎日笑いとはばして楽しんでます。



↑ラムネットJのブース看板の修正作業

●会場の周りはこんなところ

日暮れ前にホテルの庭から続いている海に急いで行ってみました。ゲンカンドリが3羽、頭上に何回も現れ、挨拶してくれました。海の間はキューバかもしれない、訪れる時間はないけれど想像力でカバーした20分間の息抜きタイムでした。写真を楽しんでください。



↑ゲンカンドリ (小さい…)



(レポート：安藤よしの↑)